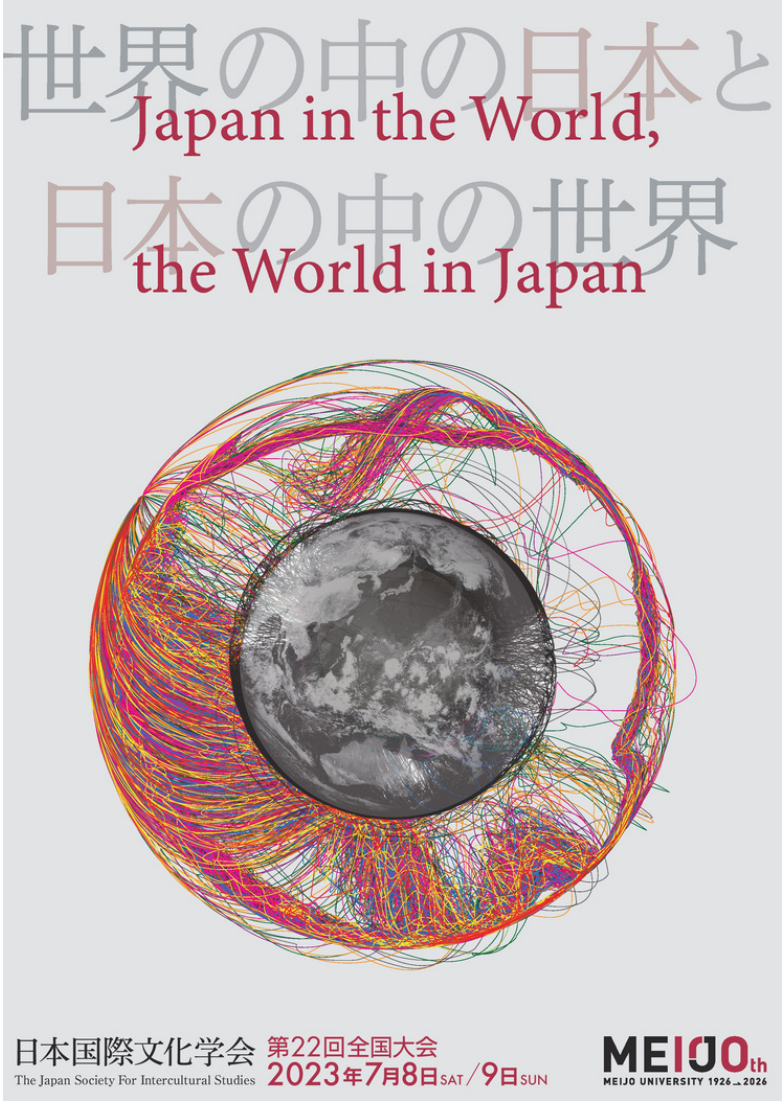
2023年6月10日発行
THE JAPAN SOCIETY FOR INTERCULTURAL STUDIES

日本国際文化学会ニューズレター　54号

http://www.jsics.org/

日本国際文化学会事務局
龍谷大学国際学部松居研究室内
〒612-8577
京都市伏見区深草塚本町67
Tel:075-366-2223
Email:
jsics@world.ryukoku.ac.jp



第22回日本国際文化学会全国大会
名城大学ナゴヤドーム前キャンパス
7月8日（土）9日（日）
参加費のお知らせ

早期割引（7/3までの納入）…4,000円
締切後・現地支払…5,000円
学生…2,000円

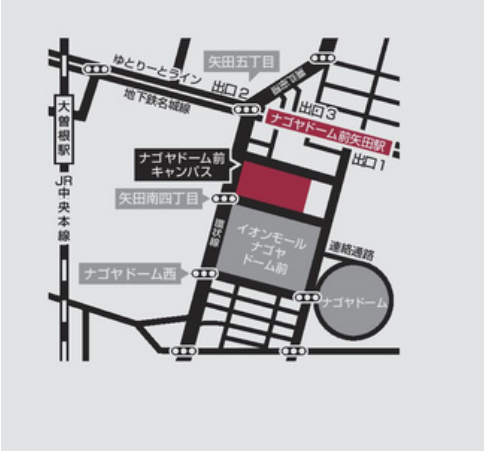
【情報交換会参加費】
一般…6,000円 / 学生…3,000円

【参加費振込口座】
(1)ゆうちょ銀行
記号番号：10060-2849881
名義：鈴村裕輔（スズムラユウスケ）

(2)ゆうちょ以外から振込のとき
ゆうちょ銀行
普通　〇〇八店　284988
名義：鈴村裕輔（スズムラユウスケ）

【参加申込】
下記のQRコード、またはメールで大会実行委員会までお申し込みください。
zenkokutaikai2023@gmail.com

QRコードから申し込めます



【アクセス】
(1) 名古屋市営地下鉄（約20分）
［名古屋駅］→（東山線・藤が丘行き）→［栄駅］→
（名古屋市営地下鉄名城線右回り）→［ナゴヤドーム前矢田駅］

(2) 名古屋市営地下鉄（約22分）
［名古屋駅］→（桜通線・徳重行き）→［久屋大通駅］→
（名古屋市営地下鉄名城線右回り）→［ナゴヤドーム前矢田駅］

(3) JR東海（約15分）
［名古屋駅］→（中央本線・高蔵寺行き）→［大曽根駅］→
（名古屋市営地下鉄名城線右回り）→［ナゴヤドーム前矢田駅］

第22回全国大会スケジュール

【7月8日（土）】			
9:30～　受付			
10:00-11:30	自由論題A 性と生 司会：芝崎厚士	日本における恋愛と結婚の「際」とは？ ー女性を対象とした結婚に関するアンケート結果からー 相原征代	DS401
		観音の躍動 ー一九〇〇年代における救世教の展開と生（性）の言説ー 亀山光明	
	自由論題B 日中関係と文化交流 司会：趙貴花	日本の新聞報道に見る胡適 ー1920年代を中心にー 劉紅	DS402
		幸田露伴の『水滸伝』論について ー胡適との比較からー 梁鎮輝	
		明治期における関羽表象の変遷に関する一考察 ー日清戦争前後を中心ー 劉晶洋	
	自由論題C 都市とアイデンティティ 司会：桐谷多恵子	奈良ホテルの建設 ー揺れ動いた明治日本の自己認識の帰結点としてー 藤田賀久	DS403
		福岡県における非核自治体宣言採択までの過程と議論 大和裕美子	
11:30-13:00	昼休み	昼食（会場：レセプションホール［DW207］） 大学院生交流会（会場：DN302） 理事懇談会（会場：DS411）	
13:00-15:00	共通論題1 代表者：田中佑実	近代における西洋文明の受容と選択 ー周縁からのアプローチー 【発表者】 王佳超（関西大学東アジア文化研究科 博士後期課程） 閻秋君（仙台高等専門学校 特命助教） 田中佑実（北海道大学 助教） 阿部純（東北大学大学院国際文化研究科 博士後期課程） 【コメンテーター】 葉柳和則（長崎大学）	DS401
	共通論題2 代表者：岡眞理子	国際文化学における国際交流基金研究の意義と課題 ー特殊法人時代を中心に（1970年代～2000年代）ー 【発表】 岡眞理子（元国際交流基金職員、帝京大学特任教授） 川村陶子（成蹊大学教授） 坂戸勝（元国際交流基金理事、元ベルリン日独センター副事務総長） 【コメンテーター】 牧田東一（元トヨタ財団職員、桜美林大学教授） 小川忠（元国際交流基金職員、跡見学園女子大学教授） 嶋根智章（国際交流基金職員） 【司会】 岡眞理子	DS402
15:00-15:30	休憩		
15:30-17:30	シンポジウム 「世界の中の日本と日本の中の世界」	田中優子氏（法政大学） 布の力 タイモン・スクリーチ氏（国際日本文化研究センター） 蘭学を通した日本と西洋の交流	DSホール ［DS101］
18:00-19:30	情報交換会	会場：MU GARDEN TERRACE	

実行委員会の皆さん。大会ではよろしくお願いします

7月9日（日）			
9:00～　受付			
9:30-11:00	自由論題D アジアと日本 司会：牧田東一	インド独立運動における「心の絆」 シュディプト・ダス	DS401
		1954年マニラアジア大会と"外地"生まれの選手たち 菅野敦志	
	自由論題E 創造と表現 司会：高橋梓	梶原一騎から見えてくるマンガ原作者の役割 門脇正法	DS402
		なぜ都市はアーティスト／ライター・アット・リスクを受け入れるのか？ 都市外交の研究としてのInternational Cities of Refuge Network (ICORN)のケーススタディ 西山葉子	
		文化接触による「いかもの」の形成過程について ―20世紀初頭の「飾る」を再考する― 斉藤理	
	自由論題F 言語と文化 司会：松井真之介	ハワイアン・ボード (Hawaiian Evangelical Association)の国際主義と日本語学校 ―『フレンド(The Friend)』を通じて 1928年から1941年― 赤松美和	DS403
		戦後日本の文化外交における「文化協力」の成立とその課題 鈴木勉	
		大学生の海外留学の現状に関する日韓比較研究 金美連	
11:15-14:15	ランチセッション	総会及び平野健一郎賞表彰式 ICCO資格認定報告 フォーラム：コロナ禍における国際文化学教育	DN301
14:30-16:30	共通論題3 代表者：齋川貴嗣	『国民国家以後の時代』の国際文化交流再考 ―理念、主体、媒体を中心に― 【発表者】 齋川貴嗣（高崎経済大学准教授） 高光佳絵（千葉大学准教授） 湯浅拓也（大阪産業大学講師） 大山貴稔（九州工業大学准教授） 張雪斌（大阪経済法科大学准教授） 【コメンテーター】 都丸潤子（早稲田大学教授） 芝崎厚士（駒澤大学教授） 【司会】 齋川貴嗣	DS401
	共通論題4 代表者：松居竜五	鶴見和子の生涯と内発的発展論 【発表】 馬場孝（静岡文化芸術大学名誉教授・龍谷大学客員教授） 平島みさ（東洋大学教授） 朱琳（仙台高等専門学校助教） 松居竜五（龍谷大学教授） 【コメンテーター】 田村義也（南方熊楠顕彰会理事）	DS402
	共通論題5 代表者：堤ひろゆき	マンガはコミュニケーション・ツールになり得るか ―マンガによる自己表現ワークショップの課題と展望― 【発表】 堤ひろゆき（上武大学講師） 伊藤理絵（常葉大学講師） 倉田よしみ（大手前大学教授） 【コメンテーター】 白石さや（東京大学名誉教授） 【司会】 堤ひろゆき	DS403

【大会参加費の変更について】

今大会では、参加費を変更しました。今回の変更については、全国大会の開催にかかる費用については学会からの補助を最低限にとどめ、参加される皆様からの参加費でまかなうことで、より安定して持続性を持った学会運営を実現するという大会実行委員会の考えに基づき、常任理事会での検討を経て決定しました。皆様のご理解のほど、お願い申し上げます。

日本国際文化学会第22回全国大会実行委員会
委員長　鈴村裕輔

事務局からのお知らせ

会費納入のお願い

2023年度の年会費の納入をお願いします。
正会員 正会員/一般：10,000円、院生：5,000円、学部生：2,000円
◆ゆうちょ銀行からお振込みのとき◆
記号番号　00920-8-325835
日本国際文化学会（ニホンコクサイブンカガッカイ）
◆ゆうちょ銀行以外からお振込みのとき◆
ゆうちょ銀行　店名〇九九　店番099
当座預金　口座番号0325835

『インターカルチュラル』22号投稿論文募集（事前申込：7月20日締切）

『インターカルチュラル』22号の投稿論文を募集します。詳細は投稿規程をご覧ください。
その他、著書紹介、博士論文紹介記事の募集も行う予定です。
詳細はメーリングリストやホームページなどでご案内いたします。
●応募先/問い合わせ先：年報編集委員会 editorialboard.intercultural@gmail.com

全国大会開催校募集

本学会の2024年度全国大会は東洋大学での開催を予定しております。
2025年度以降の開催のご希望があれば学会事務局までお知らせください。
複数のお申し出がある場合には、地域等を考慮して開催順を決定させていただきます。
●応募先/問い合わせ先：学会事務局 jsics@world.ryukoku.ac.jp

ニューズレター＆メーリングリスト掲載情報募集（随時）

●本ニューズレターにて連載中の「私の研究歴―会員紹介」に掲載を希望される方を募集しています。
（自薦他薦を問いません）
●学会会員の新刊の情報など（ニューズレター・メーリングリスト・学会誌等へ掲載予定です。）
●採用情報やその他、会員に有用と思われる情報（メーリングリストに掲載予定です。）
ぜひ学会事務局までご連絡ください。

学会誌『インターカルチュラル』の販売について

学会誌『インターカルチュラル』の販売について、学会誌の追加購入やバックナンバーのお求めは
日本国際文化学会事務局まで、メールまたは郵送でご連絡ください。
●問い合わせ先：学会事務局 jsics@world.ryukoku.ac.jp

【編集後記】
4月の常任理事会で名城大学を訪れました。とても綺麗でアクセスもよいキャンパスです。ぜひ大会に参加してください！
サッカー大好き高橋は、東大阪市のJリーグ（J3）のチーム・FC大阪を熱烈応援中です。いずれJ1の舞台で名古屋グランパスと対戦する日が来ることを祈っています！（近畿大学：高橋梓）

キャプテン・坂本修佑選手と